



友垣よ

練馬区立石神井西中学校だより
令和五年六月十日 第三号
校長 井上 貴 推

授業を受ける目的とは？

関東地方も梅雨入りしています。雨が似合う草花があちこちに見られるようにもなってきましたね。さて、5月は、運動会という大きな行事がありました。生徒たちは、精一杯、全力で取り組み、大きな成長を遂げています。6月になり、ふっと息をつきたい気持ちですが、新体力テストや、1学期の期末考査があります。今月は落ち着いて勉強に取り組みむ月でもあります。そこで今号は授業にスポットを当て、日頃授業を受ける生徒の皆さんへのメッセージしたいと思います。

ー 何のために授業を受けるのでしょうか。

生徒の皆さんは、日々授業を受けている学校に来ているわけですが、何のために授業を受けているのでしょうか？ そんなの当り前じゃないですか！ 勉強するためですよ！ という声が聞こえてきそうですね。しかし、一言で「勉強」と言ってもいろいろなありますよね。国語、社会、数学、英語、音楽：ホントにいろいろです。さらに国語と言っても、漢字、語句、文章読解、文法、古典：いろいろです。授業を受ける目的は、それこそいろいろあるのです。それを自分なりに整理して授業を受けることがとても大切なのです。つまり、6時間授業の日に「何のために授業を受けるのか」と聞かれたら、6通りの「何のために」を答える必要があるのです。それができないと授業を受けたとは言えないのです。逆に言えば、それが答えられなければ無目的に授業を受けているということになります。それではせっかく授業を受けても効果がないのです。生徒の皆さん自分はどうですか？

2 そこで大切なのが「予習」と「復習」です。

では、いちいち受ける目的を考えて授業を受けなければなら

ないのでしょか。答えはノーです。そんなことしていたら時間がかって大変です。授業の目的は、授業の中で先生が示してくれています。実は「授業を受ける目的は何か」という問いかけは他の言葉でも表すことができます。それは「何ができるようにするために授業を受けるのか」です。それぞれの授業の最初に先生から「今日の授業は〜ができますようになることがねらいです。」という話があると思います。これが生徒の皆さんが授業を受ける目的ということになります。授業を受ける目的は自分で考える必要はなく先生が示してくれているのです。皆さんに必要なことは、目的を考えることではなく、その目的をしっかりと自覚しているかどうか肝腎なのです。その自覚のために大いに効果を発揮するのが「予習」と「復習」です。「予習」をすることにより、次の時間に何を目的に学習するのか目途をつけることができます。す。「復習」は、自分は何を学習して何ができるようになったのか、あるいは何ができていないのかをはっきり自覚することができます。つまり、「予習」と「復習」をすることによって、「何のために授業を受けるのか」がはっきりし、自分は何ができて何ができないのかも分かるということです。授業は学校だけでは完結しません。「家庭学習がいかに大切か」ということです！

3 授業を受けた結果、何が「できる」ようになったのか。

授業で大切なことは、「何が分かったか」ではなく、「何ができるようになったか」です。国語の授業で漢字を習い、読めて書けるようになったとしても、それを実際に文章を書くときに使わなかったら、意味がありません。使うことが「でき」て初めて授業を受けた意味があるのです。「分かった」の段階で止まっている人、いるんじゃないでしょうか。一時間一時間の授業で何を「できる」ようになるために受ける授業なのか、しっかりと自覚をして授業を受ける、これが成績アップの秘訣でもあるのです。